



令和8年1月15日

# 中部家保だより

発行：中部農業事務所家畜保健衛生課（中部家畜保健衛生所）

〒371-0051 前橋市上細井町 2142-1 電話 (027) 288-0371 FAX (027) 230-8052

## 【 記 事 】

- 1 ランピースキン病について
- 2 カラスが運ぶ感染症にご注意ください
- 3 クリプトスポリジウムによる子牛の下痢について
- 4 冬季の消毒について
- 5 定期検査について
- 6 浅間牧場観光用展示牛（県有牛）の導入について
- 7 定期報告書提出（申請）のお願い
- 8 ハエ対策は冬のうちから

## 【 添付資料 】

- 1 「ランピースキン病」リーフレット
- 2 浅間牧場観光用展示牛（県有牛）の導入について
- 3 肥料の BSE に係る規制を見直しました
- 4 JGAP（家畜・畜産物）
- 5 電子指示書システム運用開始のお知らせ



## ◆◆ランピースキン病について◆◆

ランピースキン病はランピースキン病ウイルスによって引き起こされる牛や水牛の病気です。吸血昆虫による機械的伝播や感染した牛の移動により感染が拡大し、牛に**全身の皮膚の結節**や水腫、発熱、乳量の低下などを引き起こします。

国内では令和6年11月に福岡県で初めて発生しました。令和7年7月には、殺処分命令など法定伝染病と同程度の措置を講じることとなりました。本病を疑う症状が見られた場合には、その牛を速やかに隔離し、**中部家保までご連絡ください**。

ランピースキン病の皮膚病変や侵入防止対策などについては、**農林水産省ホームページ**（下記）および「**ランピースキン病**」リーフレット（別添）をご覧ください。

詳しくは 「ランピースキン病に関する情報」：農林水産省 HP(QRコード)



## ◆◆カラスが運ぶ感染症にご注意ください◆◆

カラスは鳥インフルエンザ以外にも多くの病原体を保有しており、牛の死亡や流産のリスク要因になります（サルモネラ、ボツリヌス菌など）。カラスの糞便や盗食、水浴び等によって餌や水が汚染され、牛への感染源となります。

対策として防鳥ネットが有効です。ネットの下部に鎖を取り付ける等により、ネットがめくれないようにすることも効果的です。なお、カラスの死体はそれ自体がリスク要因になるため、カラスよけに用いないでください。

### ※サルモネラ症

（一部届出伝染病〔*S. Typhimurium*、*S. Dublin*、*S. Enteritidis*〕）

牛がサルモネラに感染すると発熱や下痢、流産などを引き起こします。一度発生すると農場に甚大な経済的損失をもたらすだけでなく、清浄化まで防疫対策の負担も大きく、終息までに数か月を要します。保菌牛の導入や、ネズミ・カラス等を介して農場に侵入します。

### ※ボツリヌス症

ボツリヌス菌が産生した毒素で汚染された飼料等を食べた牛が、毒素により突然の起立不能、呼吸困難等を起こし、死に至ります。この毒素は細菌が産生する毒素の中で最も強力と言われており、国内では 600 頭もの牛がボツリヌス毒素により死亡した事例も確認されています。ボツリヌス菌は広く自然界に分布しており、カラス等の野鳥が持ち込む場合があります。



堆肥舎での防鳥ネットの例  
（農水省資料より引用）



牛舎出入り口での防鳥ネットの例  
（家畜改良センターの HP より引用）

## ◆◆クリプトスポリジウムによる子牛の下痢について◆◆

今年度もクリプトスポリジウム症による子牛の下痢が確認されています。クリプトスポリジウムは、コクシジウムと同じく消毒薬に強い抵抗性があります。しかし、**熱や乾燥には弱い**という特徴があります。

消毒には 70℃以上の加熱が必要です（70℃では2分程度で不活化）。それ以上の温度が可能であれば、より効果的です。また室温での 1～4日間の乾燥で感染力を失うとされています。クリプトスポリジウムでお困りの農場は、飼育場所や哺乳器具などの熱湯消毒とともに、乾燥のため空舎期間を設ける等をご検討ください。

また、近年オルソ剤と消石灰の混合液で消毒効果があったとの報告がありました。作り方は、消石灰と同量の水を入れ、飽和消石灰液を作り、その上清に 800 倍希釈のオルソ剤を加え消毒薬とします。クリプトスポリジウムのオーシストに5分感作させると不活化したことが報告されていることから、コントロールの困難な農場での活用をお勧めします。

## ◆◆冬季の消毒について◆◆

**低温では消毒薬の効果が低下します。** 常温と同等の効果を得るために、どの程度の濃度が必要か製品により異なるので、有効濃度を確認しましょう。

**冬期は暖かい時期よりも濃い濃度で使用してください。**

逆性石鹼の有効希釈濃度 例：夏期 1,000 倍 → **冬期は 200 倍へ！**

消毒液が凍結してしまう場合は、ヒーターによる加温のほか、不凍液の利用をおすすめします。消毒液への混合を目的とした畜産用不凍液も市販されておりますので、活用をご検討ください。

また、逆性石鹼に食品添加物規格品の高純度水酸化カルシウムを 0.2%混合すると、強アルカリ化による相乗効果で消毒効果が高まります。この製品は超微粉末なので、噴霧器でも使用可能です。



## ◆◆定期検査について◆◆

今年度は前橋市（宮城地区、粕川地区）、渋川市（子持地区、小野上地区、北橋地区、赤城地区）、榛東村で実施いたしました。対象地区の皆様、ご協力ありがとうございました。来年度の対象地区は渋川市（渋川地区）、前橋市（富士見地区）、伊勢崎市（伊勢崎地区、赤堀地区）になります。よろしくお願いいたします。

## ◆◆浅間牧場観光用展示牛（県有牛）の導入について◆◆

浅間牧場では夏季に観光放牧エリアに観光用展示牛（県有牛）を放牧し、観光客がいつでも牛の放牧風景を見られる取り組みを実施しています。

令和8年度も県内の酪農家の方から導入する予定ですので、ご検討をお願いします。申し込みは令和8年2月28日まで、詳細はリーフレットをご覧ください。

## ◆◆定期報告書提出（申請）のお願い◆◆

家畜伝染病予防法に基づき、家畜の所有者は、毎年2月1日現在の飼養状況（頭数、畜舎数等）を報告することになっています。

昨年から報告は電子申請に移行し、農林水産省共通申請サービス（eMAFF：イーマフ）から提出（申請）することができます。

既に電子申請で農場台帳の登録が済んでいる方は電子での報告をお願い致します。

まだ gBIZ ID プライム（ジービズアイディー：デジタル庁発行：eMAFFに入るためのID）を取得されていない方は取得をお願い致します。

取得できた方については、ご自身で申請ができるようにするために、中部家保までご連絡ください。

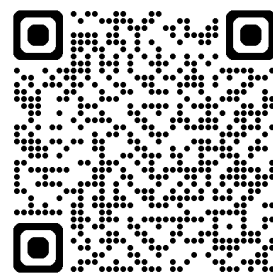
電子申請での対応が困難な方については、報告様式を送付しますので、ご記入の上ご返送ください。

### ● gBIZ ID（ジービズアイディー）プライムの取得方法。

gBIZ ID のホームページから申請し、取得できます。

右記 QR コードからアクセスできます。

gBIZ ID のホームページ



### ● 提出いただくもの

①定期報告書（基本情報）

②飼養衛生管理の遵守状況

③添付書類

（農場や埋却地に変更がある場合、地図の提出をお願いします）

通知については1月下旬に発送予定です。また、提出（申請）期限については3月20日頃を予定しています。

ご不明な点がございましたら中部家保まで御連絡ください。

## ◆◆ハエ対策は冬のうちから◆◆

この時期のハエの成虫は少ないですが、幼虫が堆肥やふんの中で越冬します。冬季に以下のハエ対策を徹底することで春の大量発生を防げます。

- 環境整備：ふん尿や残飼の除去。堆肥は高温発酵を維持。
- 幼虫防除：畜舎内外の湿った場所に脱皮阻害剤（IGR 剤）を散布。
- 成虫防除：防虫ネットの設置。殺虫剤の噴霧。粘着トラップの設置。

家畜保健衛生所は

**365 日 24 時間対応の緊急連絡体制**を確保しています。

**緊急時にはご連絡ください。**

**中部家保 027-288-0371**

★ 畜産業を廃業された方にこの「中部家保だより」が送付された場合は、誠にお手数ですが、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。